

概要

岡山大学図書館は、人文系研究データ作成・公開を支援するため、「電子化スタジオでんでん」を開設した。

研究者や図書館職員による資料のデジタル化を進め、デジタル・ヒューマニティーズ分野への貢献を目指す。

「電子化スタジオでんでん」とは？

- 2024年度文部科学省「オープンアクセス加速化事業」により図書館に新設
- 研究DXに向けて電子化をどんどん進めて欲しい、という思いを込めて命名
- 2025年3月よりサービスの試行を開始し、2025年度中に本運用への移行を目指す

研究者によるデジタル化

対象資料	著作権、他者の権利侵害のおそれがないもの ・自身が著作権を有しているもの ・著作権者の許諾が得られた著作物 ・著作権保護期間が満了した著作物 ※図書館蔵書は対象外 →貴重資料は図書館職員によるデジタル化で対応
------	---

- 研究成果発表用の学会大型ポスターの印刷 このポスターも印刷！

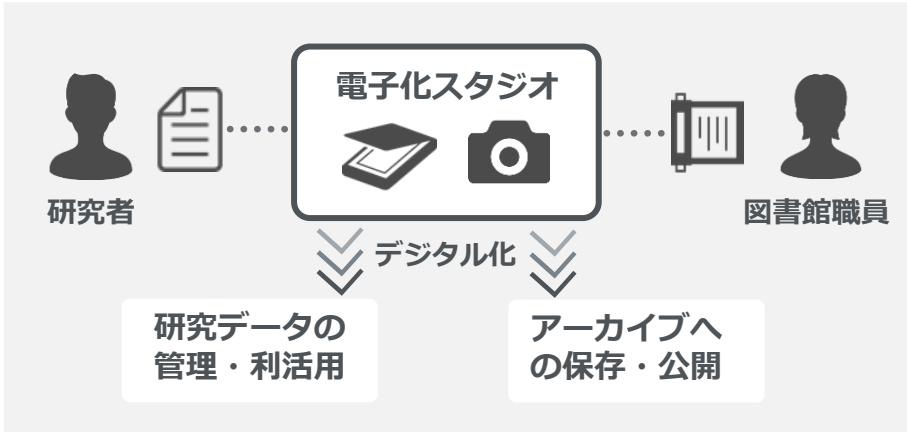
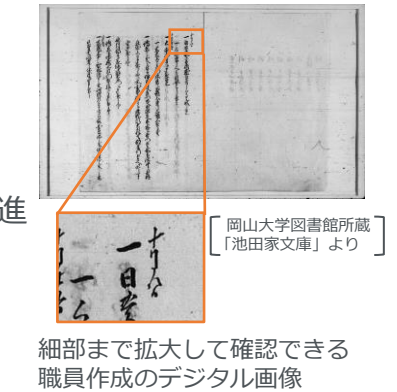
デジタル化の内製化とアーカイブ

図書館職員によるデジタル化

- 著作権保護期間満了の図書館蔵書（貴重資料が中心）が対象
 - 特に図書館所蔵の池田家文庫※1の未デジタル資料のデジタル化を推進
- ※1 江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約10万点の貴重資料

デジタルアーカイブへの公開

- デジタル化したコンテンツは、IIIF※2対応の「古文書ギャラリー」で公開予定
- ※2 画像を相互利用するための国際標準規格。異なるシステム間で画像を共有・利用可能
- 貴重資料のデジタル化とインターネット公開を進め、ローカルな価値を世界に発信



利用可能機器



ブックスキャナー
ScanDIVA SD8000G
A3ワイドまで上向き撮影可能
資料を傷めず電子化できる



マイクロフィルムスキャナー
ScanPro3500
マイクロフィルム等の撮影
高速自動スキャンも可能



デジタル一眼カメラ
Sony α7R V
6100万画素の写真撮影が可能
画質にこだわる史料に最適



大型プリンター
Canon Pro-4600
PDFからA0やA1の高精細な
ポスターを作成可能



製品ページ



製品ページ



製品ページ



製品ページ

今後の課題と展望

発見性向上
Findable

JAPAN SEARCH ※3と連携することで、資料の発見性を高める

※3 国内の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し、様々な分野のコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム

アクセス性向上
Accessible

デジタル化を進め、Web上でアクセス可能な資料を増加させる

相互運用性向上
Interoperable

IIIF化によるインターフェースの共通化により、システム間の相互運用性を高める

再利用性向上
Re-usable

メタデータとライセンスを公開し、資料の再利用を促進する